

18 回生 現代社会 課題連絡①

はじめに

スタディサプリが導入されたので、現代社会でも学校再開に向けて学習してもらいたいと思います。ただし、スタディサプリの「現代社会」の講座は、初めて現代社会の勉強をする人には少し難しいと思います。(受験対策に特化している)そこで、未来の教育講座の「よのなか科」から、現代社会の授業のテーマに関する講座をこちらで指定し、それに沿って現代社会の勉強をしてもらいたいと思います。

皆さんの中で、国公立大学志望の人は、各自でスタディサプリの「現代社会」の講座を見てください。

準備物

- ・教科書と資料集
- ・ノート（現代社会の授業でノートを使います。休校中の課題も現代社会用のノートでおこなってください。）

課題

1. 次のページにNo. 1のプリントを掲載するので、そのままノートに写し、空欄は教科書・資料集をよく読み埋める。(参照ページはプリントに掲載)太字のところはアンダーラインしてください。
2. No. 2のプリントのワークに従い、未来の教育講座「よのなか科」社会編「キミは少子化問題を解決できるか？ーその要因と対策ー」を視聴する。その後、ワークを実施すること。

第1章 青年期と自己形成の課題

教科書 32～33 ページ 図説 234～235・239～241 ページ

1 現代社会と青年の生き方

1 現代社会と青年

少子高齢化と人口減少社会

- 人口構成：人口学の3区分
- ・(1.) … 15歳未満
 - ・(2.) … 15歳以上 65歳未満
 - ・(3.) … 65歳以上

日本の高齢化

高齢化率：65歳以上の(3.)が占める割合のこと

↓

- ・(4.)：高齢化率が7%を超えた社会（1970年）
- ・(5.)：高齢化率が14%を超えた社会（1994年）
- ・(6.)：高齢化率が21%を超えた社会（2007年）

() は日本の到達年

日本の少子化

- ・(7.)：一人の女性が生涯に産む子供の平均出生数

↓

日本の状況は … 1975年に2.0を下回り、2005年には(8.)まで低下

☆現在の日本は、死亡者数が出生者数を上回る(9.)でもある

少子高齢社会・人口減少社会の問題点

- ・(10. 人口)の減少による(11.)の減少 ⇒ 財政赤字の増大
- ・(12. 関係費)の増大
- ・介護者不足による(13.)の増加
- ・(14.)における集落の崩壊 など

政府による対策

- ・エンゼルプラン（1994年）、新エンゼルプラン（1999年）の策定 ⇒ 少子化対策
- ・ゴールドプラン（1989年）、ゴールドプラン21（1999年）の策定 ⇒ 高齢化対策

No. 2

※このページはワークの問題と自分の考えをノートにまとめましょう。

現代社会ワーク① ～少子高齢化と人口減少社会～

ステップ1

- ・未来の教育講座「よのなか科」社会編「キミは少子化問題を解決できるか？ーその要因と対策ー」を視聴しよう。
- ・動画の5:35あたりで一時停止し、**ステップ2**に移ろう。
- ・**ステップ3**が終わるまで、教科書・資料集は見ないようにしておこう。

ステップ2

ワーク1

少子化の原因について、思いつくだけ書いてみよう。

《目安5分》

ワーク2

ワーク1で考えた原因の中で、似ているものをグループ分けしてみよう。

《目安3分》

☆ワーク2終了後、動画の続きを再生しよう。

ステップ3

ワーク3

ワーク2でグループ分けした中から、最も重要だと思うグループ（原因）を1つに絞り、その解決策を自分なりに考えてみよう。

《目安15分》

ステップ4

ワーク4

最新図説234～235・239～241ページを参照し、少子化の原因・解決策について気付かなかった点を挙げてみよう。